

## 〈推進委員会報告〉

# 教育会あり方検討委員会

委員長 市川 忠志

## 一 研究テーマ

「魅力ある教育会のあり方を求め、伝えていく」

## 二 研究のねらい

教育会あり方検討委員会では「魅力ある教育会のあり方を求め、(より多くの先生方に会員になっていただけるように)伝えていく」という数年来のテーマを継承し、活動に取り組んできました。魅力ある教育会とは、『会員が積極的に各事業に参加し、諸活動を通してより多くの先生方と出会い、研修し、情報交換や研究会等でお互いが切磋琢磨し、高め合える仲間関係を築いていかれる会』ではないかと考えます。そして、そのことが子どもたちへの今後の指導に活かされるとともに、私たちの職能の向上につながっていくものと確信しています。

そこで、本委員会では、他郡市から来られた先生方や新規採用の先生方に、更埴教育会の魅力や内容を知っていただいた上で多くの先生方に会員になっていただくためにはどうしたらよいかについて考えました。また、現在会員の先生方に対しても、さらに良い点を知っていただくにはどうしたらよいかについて考えました。そして、その視点から本年度行われた教育会の行事や事業内容を検討しました。

加えて、一般社団法人化に伴う「公益性を加味した教育会の今後のあり方」についても提案することをねらいとして、本年度の活動を行ってきました。

## 三 研究の経過

### 1 本年度の研究事項

(1) 各事業のよさを伝えていく

- ① よさは何か …調査委員で分担し、各事業のよさを調査・研究。
- ② よさを伝える …伝え方を検討。年3回の「教育会だより」の発行・リーフレットの配布。
- ③ 加入の呼びかけ…各校代議員の協力,教育会だよりやリーフレットの配布。

(2) 教育会長から諮問された内容について、研究・調査し、答申する。

(3) 「魅力ある教育会のあり方」を教育会に提案していく。

### 2 研究の経過

(1) 第1回委員会 5月 1日(火)

組織づくり。研究内容の決定。研究推進日程の決定。

(2) 第2回委員会 6月15日(金)

今後の推進計画の立案。調査・研究の方法と分担。

教育会だより第1号の内容検討。〔7月発行〕

- (3) 第3回委員会 9月21日(金)  
調査・研究について報告。教育会各事業の良さの確認と改善点の内容検討。  
教育会だより第2号の内容検討。〔10月発行〕
- (4) 第4回委員会 11月13日(火)  
中間報告書の内容検討。  
教育会だより第3号の内容検討。〔11月発行〕
- (5) 第5回委員会 1月18日(金)  
来年度の教育会リーフレットの検討。  
調査・研究のまとめ（研究報告書の内容検討）。  
本年度の活動反省と次年度への要望について。

#### 四 研究内容および答申（今後の課題を含む）

11月19日(月)の教育会理事会および総会へ、次の内容を「中間報告書」として提出しました。

##### 1 教育会総集会・新入会員歓迎会についての提言

- (1) 開催日は、今後も5月第3土曜日の午後、半日開催を基本とする。
- (2) 教育会総集会は、会員の研修の場として大事な位置づけになっている。今後も、意義・内容について各校へ早めに働きかけていくことが大切である。そのためにも各校で代議員の先生方を中心に参加の声かけをしていく。
- (3) 研究視察報告並びに会員による意見発表、そして教育研究会の発表は、県内外の具体的な実践や郡内の活動を紹介するよい機会となっているため、今後も大切にしていく。
- (4) 講演会は、会員の希望をもとに、会員も一般の方々も聴きたくなる講師を選定していく。また、社団法人として、チラシ、ポスター、ホームページなどを使い、広く紹介していく。
- (5) 懇親会・新入会員歓迎会は、学校や経験年数にかかわらず、会員相互のコミュニケーションを深める場として今後も大切にしていく。  
また、屋代小学校から椅子をお借りして会場設営ができることに感謝である。

##### 2 教育を語る会についての提言

- (1) 開催日程については、今年度同様開始時刻を遅くした日程を継続していく。
- (2) 他郡市から来られた先生方にとっては、更埴独自のこの会がどういう会なのかわかりづらく、参加意欲が持てない姿も見られる。PR活動を工夫していく必要がある。例えば、チラシの裏に、この会の特徴を簡単に記したり、感想記入用紙の中の「出てよかった」という生の声を取り入れたり、また写真で様子を紹介したりするなど、見ただけで良さがわかるようにするとよいと思う。また、代議員の先生方から一声かけていただくことも必要である。
- (3) パネルディスカッションでは、例年似たような進め方が続いている。そろそろ、新しいスタイルを検討していきたい。

##### 3 教育研究集会についての提言

- (1) 来年度の開催日も、今年度同様9月第1週の土曜日の開催がよい。

- (2) 更埴教育会だけでなく、他団体やP T Aの方々にも参加していただき、更埴地域全体の教育力向上について意見交換を深めていく上で、他団体やP T Aとの連携をいっそう大切にしていき、参加要請を積極的に行っていく。
- (3) P T Aの方の参加については、学校によって呼びかける範囲や方法が異なり、参加者の人数に差がある。参加範囲を示すなど、参加に偏りが出ないような要請のあり方を各校で工夫していく。さらに、郡Pを通して呼びかけていただくようお願いしたい。
- (4) 分科会の参加人数に大きな偏りがなく、どの分科会も充実したものとなった。しかし、年々、参加者にレポートをお願いするのが大変になってきている。レポートの発表だけでなく、体験的な活動を取り入れたり、講師の方に専門的なお話をお聞きしたりするような内容面での工夫をすることで、「楽しく参加できた」「理解が深まり有意義だった」という感想が多く寄せられている。来年度も、レポートだけでなく、参加者が関心を持って参加でき、参加して良かったと思えるような内容や運営を工夫していきたい。
- (5) 会場については、屋代中、戸倉上山田中、坂城中、更埴西中の4校で回していく方向で考えていきたい。

#### 4 教育研究会についての提言

より多くの先生方に研究会に入ってもらい、専門的に学んだり、つながりをもったりしていくために

- (1) 以下の方法により、今後も教育研究会の活動内容をP Rしていく。
  - ・教育会総集会の発表により、会員みなさんに教育研究会の活動について具体的に知っていただく。
  - ・会誌や教育会だより、リーフレット等で、それぞれの教育研究会の活動時期、活動内容について知っていただく。
  - ・教育会のHPにある教育研究会の情報サイトにより、それぞれの教育研究会の活動内容について知っていただく。
- (2) 入会希望調査をとる時期には、とりまとめる代議員の先生や校長先生から、入会を勧める 声かけをしていただく。

#### 5 全郡研究会についての提言 (H29のもの)

- (1) H27年度より全郡研究会の会場校が4校となったことで、教育課程研究協議会・全郡研究会の指定を受けない学校ができ、その該当校は自校の教育課題解決に向けじっくり課題を洗い出し、課題解決に迫る研究を学校全体で取り組むことが可能となった。その良さを継続し、次回の全郡研究会の会場校も4校が妥当と考える。しかし、先生方の負担軽減の視点から考えると、将来的には「4校→3校へ」減らしていくことも検討していきたい。
- (2) 全郡研究会は、あくまで「学校独自の教育課題解決に向け、学校全体で取り組んでいることが、研究の中核に据わった公開であること」を引き続き各校に徹底する。そして、教科や領域にとらわれない、自由な発想で独自の特色ある研究が進められるようにしたい。但し、会場校数を減らすためには、100名～80名程度の参加者を受け入れられる公開授業を計画的に工夫していく必要

がある。(3校にする場合は1校120～130名の参加者になることが予想される)

## 6 会誌・会報・社会科資料集等の出版物についての提言

### (1)「社会科資料」

- ・ これからも存続させたい資料集なので、単価を上げないためにも各小学校での採用をPRしていきたい。また、単価を下げるために、教育会からの補助も考えていかれるとよい。

### (2)「教育会だより」

- ・ 更埴教育会の活動の良さをアピールするものとして、会員だけでなく郡内の先生方全員への配付を検討していきたい。

### (3)「更埴教育会リーフレット」

- ・ 会員増に向けて、見やすくわかりやすい内容になるよう、さらに工夫していく。
- ・ 更埴教育会の活動を広く知っていただくためにも、今後も会員だけでなく郡内の先生方全員に配布していくこととする。

## 7 更埴教育会のホームページについての提言

- (1) 会館のPCが古くなっておりWindows7のサポートがあと1年半で切れるため、会館のパソコンをWindows10対応のノートパソコンに変えてほしい。

## 8 他の推進・委員会についての提言

- (1) 各委員会とも更埴教育会にとって大切な役割を担っている。課題について改善を図りながら、今後も活動を継続していく。
- (2) 科学作品展の展示の仕方並びに作品集作りについて、今後さらに現状を把握し、課題解決に向けたよい方向を検討していきたい。
- (3) 道徳資料編集委員会については、来年度以降に向けて委員会を休会させる方向で検討していく。信濃教育会から、「信濃教育会編道徳資料集『わたしたちの道』(小学校版)、『わたしの築く道しるべ』(中学校版)の研究調査、編集を平成30年度末で終了する」という方向性が示された(H30.9.11臨時総会)ことで委員会の意義・必要性を問い直すことが求められている。また、問い直しにより、必要性が認められた場合も想定し、再会の道も残したい。

## 五 委員会の構成

世話係	中澤 英治 (上山田小学校長)
委員長	市川 忠志 (坂城小学校)
副委員長	白石 裕順 (南条小学校)
委員	高地 達也 (屋代小学校)
	南澤 章 (坂城中学校)
	三井 孝昌 (屋代中学校)